

CONTENTS

1 … 千葉大学グローバル・ダイバーシティ研究者育成事業
キックオフセミナーを開催

1~2 … 記念講演 ピーター・フランクル氏

3 … 来賓挨拶、開会挨拶、閉会挨拶、取組紹介

4 … TOPICS (INFORMATION、EVENT)

千葉大学グローバル・ダイバーシティ研究者育成事業

西千葉キャンパスけやき会館で開催 / YouTube でオンライン生配信



■ 記念講演

世界に羽ばたけ

～多様性を認め寛容な研究環境を目指すために～

変わらなければいけないのは

差別する方

ダイバーシティに関係することをいくつかお話ししたいと思います。まず、ダイバーシティの考え方の対極にある「差別」についてです。

この機会に皆さんに知ってほしいのが、差別に関しては、「差別する方が完全に悪い」ということです。

人と人との間にいろいろな差があり、違いがあるのは確かですが、自分と違うからといって相手を憎んだり、差別したりしてはいけません。だから差別する方が悪いのであり、変わらなければいけないのは差別する方です。たとえば

女性差別の問題についていえば、女性の不利な立場を変えていくためには、まずは男性が変わるべきだと思います。

ダイバーシティを実感した思い出

僕は子どものころに学校で男女平等を学び、それが当たり前と思って育ちました。

学んだだけでなく、周囲にもはっきりと男女平等がありました。僕の両親は二人とも医者で、男性(女性)はこういう仕事、と決めつけるような考え方をする家ではありませんでした。20代になると、女性との付き合いを通じてダイバーシティを学んだものです。

ピーター・フランクル氏 数学者・大道芸人

profile

1953年 ハンガリー生まれ。ハンガリー学士院のメンバー。日本ジャグリング協会名誉顧問。メディア出演、執筆活動、講演活動を行う。話せる言語は12ヶ国語。これまでに110ヶ国以上を訪問。

僕の彼女にはたくさん友人がいて、その中には同性カップルで暮らすLGBTの人もいました。男性カップルも女性カップルもいたのですが、そんな人たちと交流するうちに、彼女のコミュニティには区別はあるけど、差別はないということがわかってきました。ダイバーシティ社会を理想にしているような人たちがばかりだったのだと思います。

好奇心を持って相手の話を聞き、

受け入れる

やはり大切なのは、自分と違う考え方、生き方をお互いに認め合い、

P2へ続く>>>

>>> P1からの続き

寛容な心で受け入れることだと思います。では、寛容な心を持つためにはどうすればいいでしょうか。そのためには、好奇心を育むことです。

僕が初めて日本を訪れた38年前、日本人は本当に好奇心が旺盛で、街を歩いていると、「ちょっと質問していいですか」と見知らぬ人によく声をかけられたものです。

しかし、旺盛だった日本人の好奇心は、いつの間にか感じられなくなりました。それはなぜか。僕は、インターネットを通して世界中を知ることができるように



なったことと、情報を受信するより発信したいと考える人が増えたことが理由ではないかと考えています。

でも僕は、情報は発信するより受信する方が得ではないかと考えます。だって、授業で話をする先生より、話を聞く学生の方が新しい情報を得て、知識を広げられるじゃないですか。

問題は、どうすれば受信する側に回るかです。そのためには、好奇心を持って相手の話を聞き、受け入れること。つまり聞き上手になることです。

心の門戸を開けば、

ダイバーシティがそこにある

聞き上手になると、情報だけでなく、相手の信頼を得られます。相手のことをうまく聞き出しながら、さまざまな話題について話し合うと、そのうち意見の一致を必ず見つけられるからです。そうやって人間関係を築けるのが聞き上手です。皆さんには、ぜひ聞き上手になってほしいと思います。

寛容と好奇心が大切です。



近頃、外国や外国人に対する厳しい意見を聞くことがあります。でも、日本を訪れる外国人の多くは、日本を好きでやってくる人です。そんな人たちに、「あなたの国は嫌いだ」と言うのはひどいことです。そうではなく、「せっかくだから、いろいろ聞いてみよう」と考えてください。KEEP YOUR HEART OPEN——心の門戸を開けば、ダイバーシティがあり、個人的な幸せもある、楽しい人生を送れるはずですよ。

Q&A

ピーターさんに聞いてみよう！(事前にいただいた質問からお答えいただきました)

Q. 多言語を習得するコツを教えてください。

A. 最も大切なのは、その国のことを知りたいという好奇心を持つことです。僕はできるだけ現地の人とコミュニケーションを取りたいので、外国に行くときは必ずその国の言葉を習得してから出かけます。好奇心があれば、それほど難しいことはありません。また、自分なりの学び方を考えながら学ぶと、次の外国語からスムーズに習得できるようになります。

Q. 数学者と大道芸人という二足のわらじを継続していくために、どんな努力をしていますか。

A. 大道芸のお客さんにとって大事なものは、「楽しいかどうか」です。そのことに気づいて、僕の人生は大きく変わりました。数学の論文を書くのも大きな幸せですが、街に出てたくさんの人と会うときは、「楽しんでもらう」という姿勢が幸せと結び

ついているので、その意識を忘れず持ち続けることができれば、数学と大道芸の両方を続けていけると考えています。

Q. グローバルに活躍する中で得られたよろこびがあれば教えてください。

A. 僕はどの国へ行っても、できるだけ大学に行くようにしています。そこで感じるのは、肌の色や宗教、習慣が違って、学問に向かう姿勢は皆、同じだということです。つまり人間には、人種や宗教、国籍を超えた共通点があるということに気づくのです。そうした体験を通じてダイバーシティを実感することが、僕の楽しみでありよろこびでもあります。

聞き上手になろう！



Voice

参加者の声

どうしたら固く凝り固まった考え方を変えていくことができるのか、大学の場合から発信し、未来の人材を育てていくことが大事だと思いました。

普段気をつけていながらも、やはり自分のどこかにも差別というものがあるのだろう、どうしたらよいかと、考えさせられる良い機会になりました。

ピーター先生の素晴らしいお話が聞けて、とても勉強になりました。「keep your heart open」を頭に、今後出会う人と接していきたいです。多様性に対して寛容な態度で受け入れたいです。



■ 開会挨拶



千葉大学長 徳久 剛史

本事業のキックオフセミナーにお集まりいただきありがとうございます。また、オンライン配信でも多数の方にご参加いただいております。多様な人材が活躍できる研究環境を実現していくために、どのようなことに取り組む必要があるのか、皆様とともに学ぶ機会にしたいと考えています。

■ 閉会挨拶



千葉大学理事 山田 賢

大学は、ダイバーシティの実現に適したコミュニティです。ピーターさんのお話の「寛容」、「好奇心」、「差別のない開かれた心」といったキーワードは、ダイバーシティの原点・出発点で最も重要な場所です。たいへん意義のあるセミナーとなりました。長時間にわたりご観覧（ご視聴）いただきありがとうございました。

■ 取組紹介



「千葉大学グローバル・ダイバーシティ研究者育成事業について」

森 恵美 千葉大学 副理事・ダイバーシティ推進部門長

研究環境のダイバーシティを 拡大・推進する新たな取り組み

千葉大学は、平成 27 年度からダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）事業の支援により、東邦大学や量子科学技術研究開発機構と連携してダイバーシティ研究環境促進コンソーシアムを組織し、女性研究者への支援に取り組んできました。

今回、「グローバルダイバーシティ研究者育成プログラム」を新たにスタートしたことにより、研究環境のダイバーシティを一層拡大・推進し、さらなる女性上位職比率などの向上を目指していきたいと考えています。

女性上位職登用と国際的な 研究活動の推進

本事業では、グローバルに活躍できる研究者を育成するとともに、ダイバーシティ研究環境を実現することを目指して、「採用」「研究」「啓発」「環境」という 4 つの取り組みを進めています。

「採用」は女性研究者の上位職登用を促進する取り組みです。業績評価で

「国際活動成果」を重視する方針を打ち出したほか、無意識のバイアス排除にも取り組んでいます。

「研究」は国際的な研究活動を推進する取り組みで、女性研究者が短期～長期の研究に専念できるようにする「研究専念制度」をはじめ、「国際研究活動支援」「グローバルスキルアップ研修」「英文校閲経費支援」を実施しています。

学生と教員がいつでも学べる オンラインコンテンツの整備

「啓発」は、ダイバーシティ・マネージメントを理解するための取り組みです。令和 2 年度はハラスメント研修をはじめとするダイバーシティ研修をオンラインで実施したほか、今後はロールモデルの見える化も進めてまいります。

「環境」は、スマートラーニング環境の整備を推進する取り組みで、学生と教員がいつでも学べるオンラインコンテンツの整備を進めています。

皆さま、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

千葉大学における 男女共同参画・ダイバーシティ推進の取組

- 平成17年
研究者の育児支援環境整備をスタート
学内保育所を新設
- 平成18年
教職員の仕事と生活の両立を支援する『両立支援企画室』を開設
- 平成19～21年
文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業を実施
女性研究者の研究環境改善を実現
- 平成22～26年
『理系女性教員キャリア支援室』開設
文部科学省科学技術システム改革事業「女性研究者養成システム改革加速」により、理系女性限定公募を実施し、19名を採用
- 平成27年
両立支援企画室と理系女性教員キャリア支援室を統合し、『男女共同参画推進部門』を開設
- 平成27～令和2年
文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」に採択・事業開始
「ダイバーシティ CHIBA 研究環境促進コンソーシアム」設置
- 令和2年
男女共同参画推進部門から『ダイバーシティ推進部門』に名称を変更
- 令和2～7年
文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択・事業開始

■ 来賓挨拶

文部科学省 科学技術・学術政策局
人材政策課 人材政策推進室

三輪 善英 氏

文部科学省では、平成27年度以降「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」事業を実施し、研究とライブイベントの両立、女性研究者の研究力向上、上位職への登用等に取り組む大学等を重点的に支援しております。

千葉大学におかれましても、本事業の「先端型」に採択され、意欲的な目標を掲げ、教職員や学生のICT環境の整備や若手研究者グローバル研究力向上等、先進的な取り組みを進められております。

国全体の動きとして、次期科学技術・イノベーション基本計画の今年度中の策定を目指しており、女性研究者の活躍促進に関する内容が充実したものとなるよう、引き続き取り組んでまいります。

科学技術振興機構・科学技術プログラム推進室
プログラム主管

山村 康子 氏

千葉大学では以前、特に教員の退官に伴う不補充期間を前倒しし、女性教員の採用を進める画期的なシステムを構築されました。この仕組みは機関の大小問わず実現できるため全国に波及しました。また、「ダイバーシティ CHIBA 研究環境促進コンソーシアム」を構築され、県内の女性研究者・技術者の活躍促進を積極的に進められました。令和 2 年度に採択された本事業では、研究スキルアップ支援、国際研究活動支援等を推進し、女性・若手研究者の育成に期待されています。今後は「ダイバーシティ CHIBA 研究環境促進コンソーシアム」を活用し、県内、全国の研究機関への高い波及効果を及ぼすことを期待しています。

グローバル・ダイバーシティ研究者育成事業 WEB サイトを新設

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)で本学が提案した、「グローバル・ダイバーシティ研究者育成事業」の取り組みを紹介するWEBサイトを新設しました。

<https://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/diversity2020>



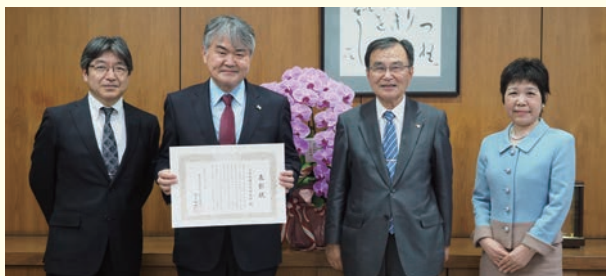
今後、各種支援制度の最新募集情報や、ダイバーシティ推進に関する情報発信等、コンテンツを充実させていきます。



EVENT

WLB 支援活動認証・表彰部局に「園芸学研究科」が決定

仕事と家庭生活の両立支援に関する組織的取り組みを推進するため、3年に1回、千葉大学におけるワーク・ライフ・バランス(WLB)支援活動認証・表彰制度を実施し、特に優れた活動を行っている部局の表彰を行っています。



表彰された園芸学研究科 松岡研究科長(左から二番目)

第4回となる今年度は、「園芸学研究科」を表彰することが決定し、令和3年3月22日に表彰式を開催しました。園芸学研究科は、令和2年度の常勤女性教員の割合が、平成30年度と比較して、自然科学系部局において唯一向上が認められたこと、令和2年度女性教員昇任システムにおいて、教授1名が誕生し、女性教員の積極的昇任が認められたことが、高く評価されました。

INFORMATION

全国ダイバーシティネットワーク組織活動報告冊子配布中

全国ダイバーシティネットワークは、女性研究者を取り巻く研究環境整備や、研究力向上に取組む諸機関をつなぐネットワーク(事業統括:大阪大学)で、全国が8つのブロックに分かれて、国内外の取組動向の調査やその経験、知見の全国的な普及・展開を図っています。

千葉大学は、関東・甲信越ブロックの幹事大学として活動に参加しています。令和3年3月に、同ブロックの取りまとめ幹事大学である新潟大学が発行した活動報告冊子に、千葉大学の取り組みが掲載されました。希望者には配付を行っています。

